

# ♥共にオモロイまちを考える♥

～誰もが生涯住み続けたくなるまちにするために～  
ベッドタウン（住民being）の時代から  
アクティブタウン（市民doing）の時代へ

☆☆市総合戦略を紐解く・ともだち（共立）作戦会議☆☆

第12回市民活動団体交流会



情報提供 2017.2.18.

大阪狭山市副市長 高林正啓

# まちづくりのキーワード～『協働』と『協創』～

◎協働とは（CO-PRODUCTION） →新たな公共サービスの提供

自治基本条例第7条

市民、議会及び市は、相互理解の下、信頼関係を深め、協働してまちづくりを推進するものとする。

◎協創とは（CO-CREATION） →持続可能なまちへの新たな財源確保

《近江商人の経営理念（三方よし）の活用》

池の「水」をキーワードに民間事業者と連携し、地球にやさしい新たなエネルギーの創出に努め、まちのさらなる活力の向上と持続可能なまちをめざす。

- ・平成28年4月1日：グリーン水素シティ事業推進室の設置
- ・大阪狭山市グリーン水素シティ構想（案）に関するパブリックコメント  
平成29年1月20日から2月10日まで実施

○支援とは

- ・広辞苑＝援助すること
- ・まちづくり＝他者のペースで他者のやりたいことを実現させること

○推進とは

- ・広辞苑＝押し進めること
- ・まちづくり＝自分のペースで自分のやりたいことをすること



# 市民のとらえる本市の強みと弱み



## 《強み》

- 健康
- 子育て
- 高齢者、障がい者福祉



## 【強みの向上】

- 市民生活の安全、安心の向上と定住環境の充実
- 子育て、教育環境の改善と子育て世代の定住及び出生率の向上

## 《弱み》

- 商工業・雇用
- 観光
- 交通環境



## 【弱みの改善】

- 企業誘致、起業、創業の促進による地元雇用の確保
- 地域資源を活かした観光の振興と交流人口の増大
- 道路などの交通環境の改善による定住人口の確保



### 基本目標 1

出産・子育て支援による若い世代の定住促進



### 基本目標 2

安心して暮らし続けられる環境整備



### 基本目標 3

まちの魅力を高め人を呼び込む



### 基本目標 4

地域経済の活性化による雇用促進

# 人口の背景から見る本市の特性

## ～河内長野市との比較から～



### 大阪狭山市～住民基本台帳から～

	総人口	0～19歳	20～34歳	35～49歳	50～64歳	65歳～
平成17年（2005年） 2月28日	58,014	11,829	12,597	10,872	13,248	9,468
平成19年（2007年） 12月31日	58,575	11,712	11,557	11,735	12,514	11,057
平成22年（2010年） 1月31日	58,045	11,481	10,322	12,251	11,869	12,122
平成28年（2016年） 12月31日	58,038	11,143	8,778	12,577	10,140	15,400
	横ばい状態	▲686	▲3,819	1,705	▲3,108	5,932

### 河内長野市～住民基本台帳から～

	総人口	0-19歳	20～34歳	35～49歳	50～64歳	65歳～
平成18年（2006年） 12月31日	118,616	22,367	21,665	22,138	28,432	24,014
平成22年（2010年） 12月31日	115,225	20,208	18,429	22,296	26,244	28,048
平成27年（2015年） 12月31日	109,545	17,578	15,571	20,392	22,258	33,746
	▲9,071	▲4,789	▲6,094	▲1,746	▲6,174	9,732



# 市内循環バスの更新物語

## 緑色からオレンジ色へ～なんでだろう？～

- (1) 地域特性
- (2) 色彩心理学
- (3) 人権

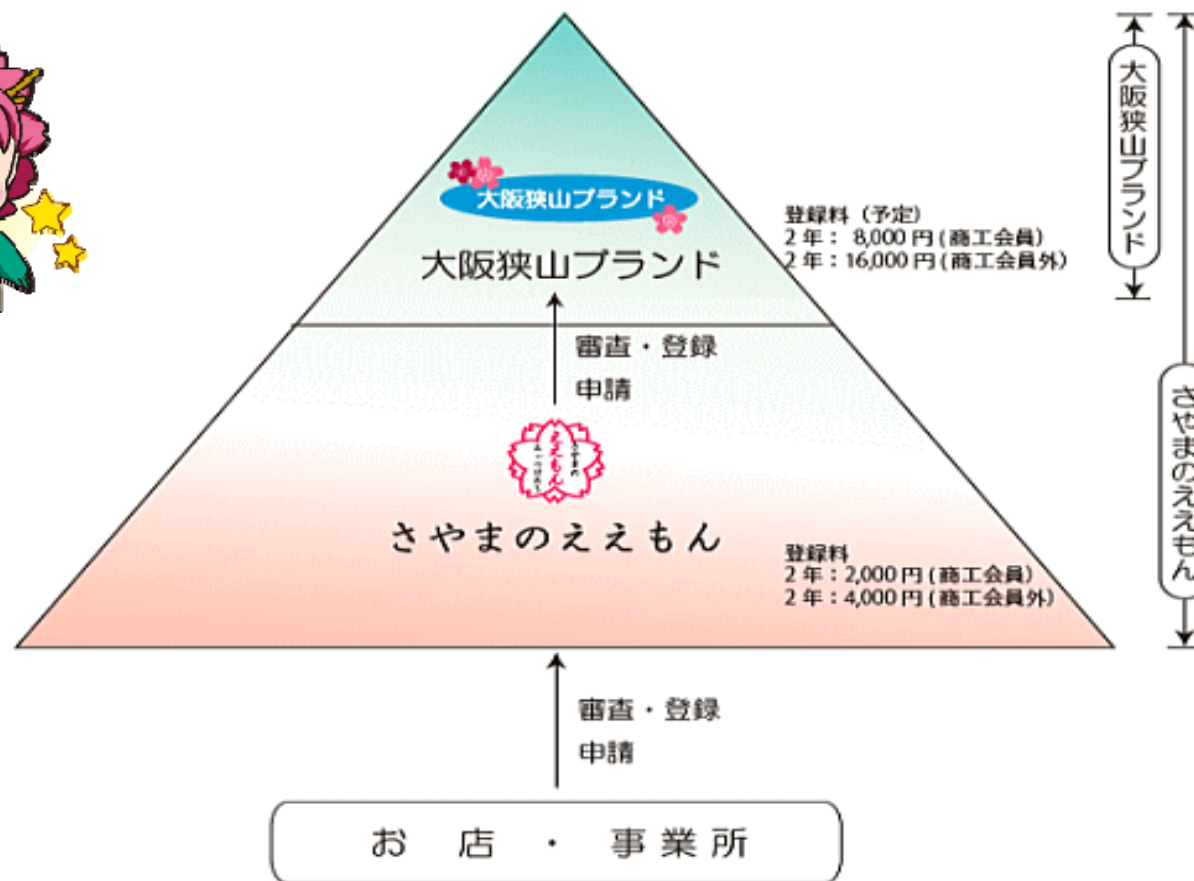
～大阪府・色覚障がいのある人に配慮した色使いのガイドライン～

- (4) PARITY BRAKE



# ☆☆大阪狭山ブランド & さやまのええもん☆☆ 認定の仕組み

《イメージ図》



# 狭山池まつりと市民活動団体

参考例～自立型をめざす～

池之原拾伍人組（地元だんじり関係団体）＝地縁＋志縁

・狭山池まつりの委託模擬に参加



# 生涯住み続けたいオモロイまちにするキーワード



## 『知る 集う つながる』

今年、酉年です。鳥瞰図的な市民になり、  
『個の持ち味』を活かしましょう！



解決を要するまちの課題～まちの自慢話につながる4項目～

### (1) 生活安全

- ・災害に強いまちづくり、犯罪のないまちづくり、交通安全に優れたまちづくり

### (2) 生活安心

- ・妊娠、出産、子育てを切れ目なく支える体制の充実
- ・障がい者、高齢者などが安心して健康で暮らすことができる支援の充実
- ・近畿大学医学部附属病院の移転（平成35年・2023年予定）に伴う地域医療の機能維持

### (3) 住みやすさ

子どもの教育、スポーツ・文化芸術の振興、生き続ける歴史文化遺産「狭山池」の活用（魅力発信）、高齢化が進む狭山ニュータウンの再生、増加する空き家対策など

### (4) 将来への責任

健全で無駄のない行政運営、都市基盤や公共施設などの総合的なマネジメントの推進など



# 市民活動団体による自慢話のコーナー

～『ほめ達』になろう！～



## 約束事

1. 班に分かれる
2. 各団体の得意なこと、自慢できること、強みなどをペーパー等に整理する。
3. 自慢話（整理できたもの）をする団体の決定
4. 自慢話のコーナーとほめ達（2団体）  
「自慢話をする」 ↔ 「ほめる」

《ほめるために使うべき言葉》

「すごい・さすが・すばらしい・すてき」  
＋「そうくるか・惜しい」

（注）お世辞・おべんちゃらはダメ！

# 団体・市民として何ができるのか

## 1. 大阪狭山市の強みの伸展と弱みの改善に向け

(1)市民活動団体のミッション(使命・任務)を活かすには

(2)市民個々の持ち味を活かすには

**「私益 ・ 共益 ・ 公益」**

## 2. 市民活動団体のミッションを互いにつなげるには



☆ 集う (交流)

☆ 知る (理解・知縁)

☆ つながる (志縁)

